

広

報

こうさ

【表紙】 やな下公園を包む和のイルミネーション

コロナ禍の終息願う竹あかり

CONTENTS

- 02・甲佐高校創立100周年記念式典
- 08・こうさの話題 瀬古さんに走り方を学ぼう
- 10・町からのお知らせ マイナンバーを確認しましょう
- 14・健康だより 姿勢改善とストレッチで肩こりを解消しましょう
- 24・Kosa Style 本田荘一さん（上早川二区）・清村一男さん（下豊内区）

No.629

December 2021

12



地域とともに築いた歴史を引き継ぎ、新たな伝統を刻む

10月29日（金）県立甲佐高等学校で、歴代校長や同窓会、生徒、関係者が出席し、創立100周年記念式典が開催されました。

大正9年4月に開校した上益城郡立実科高等女学校（大正12年に県立甲佐高等女学校に改称）を前身とする同校（堀川丞美校長）は昨年、創立100周年を迎えました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた式典は1年延期に。101周年目となった今年、1年越しの記念式典と記念講演会が執り行われました。

■地域の熱望が産んだ実践を基本とする教育

大正8年6月、女子に対する中等教育を実現したいという地域の熱望に応えるために、町立御船女子実業補習学校を昇格して町立御船実科高等女学校が設置されました。翌年に上益城郡立実科高等女学校となったこの学校が甲佐高校の原点です。

大正12年に県立甲佐高等女学校と改称し、現在の地に移転。昭和23年学制改革により男女共学の県立甲佐高等学校となり。その後の学科改編などを経て、普通科、普通科福祉教養コース、ビジネス情報科からなる現在の体制となりました。

同校は創設以来、「一、学習に努め清操を涵養する」

「二、礼讓を尚び道義を昂揚する」「三、勤勞を致し平和を愛好する」「四、自律を旨とし秩序を維持する」「五、風紀を正し体育を振興する」の五綱領のもと、実践を基本とした教育を実施しています。

■地域と連携した学びを

本年度、県教育委員会「スーパードグローカルハイスクール事業」の研究指定を受けている同校では、地域社会の活性化や発展に貢献する人材育成に取り組んでいます。地域と連携した学習や体験活動を行っており、町内企業と協力して商品開発した「ニラみそあられ」「ニラえびあられ」は、本町特産のニラを使った町の新たな特産品となっています。



創立100年目を迎えた母校で学んだ卒業生は1万5千人を超え、現在、各方面で活躍しています。一方で、近年は生徒数の減少が続いており、現在の全校生徒数は84人。3つある学科はいずれも定員割れが続いています。

町では、甲佐高校の魅力化事業の一環として平成29年に公営塾「あゆみ学舎」を同校内に開設。地域おこし協力隊による甲佐高生の学習支援や個別サポートを通して、生徒たちの自己実現を手助けしています。

堀川校長は式典のあいさつで「あゆみ学舎の実践は県内でも例のないもの。放課後の学習活動などで生徒一人一人に応じた丁寧な指導・支援が



▲式典であいさつする堀川校長

■高校魅力化への取り組みで生徒の夢実現を

行われています。また、本校のキャリア教育でも、あゆみ学舎の支援によって生徒と専門家とのリモート対話を実現するなど、生徒の夢実現につながっています」とその効果を報告。生徒たちに向けて「百年の歴史を地域とともに築いてきたように、私たちも甲佐高校で学ぶことを誇りにし、夢実現のために自ら学ぶ姿勢と行動力を身に付けていきましょう」と呼び掛けました。

生徒代表の吉坂和夏さんは「県内で初めて普通科の学校に商業科が併設された甲佐高校は現在、それぞれの学科の特色を活かした学びに取り組んでいます。本校で学べることへの感謝を忘れず、さらなる発展に力を尽くしていきます」と誓いの言葉を述べました。



▲誓いの言葉を述べる吉坂さん

■入学者を増やして地域の活性化につなげる

式典後、同校が本町や県と共同で作成したPR動画の上映が行われました。

学校の雰囲気を感じてもらうことで入学者を増やし、地域の持続的な活性化につなげることが目的。地域と連携した学びに取り組みむ同校では、町内の幅広い業種の協力を得て、生徒のインターンシップを実施。そういった地域とのつながりを感じられる学校生活の様子を1分30秒の動画に



▲同校が本町や県と連携して作成したPR動画



▲甲佐高校のPR動画はこちらからご覧いただけます

まとめました。

■創立100周年記念講演で瀬古利彦さんが来校

式典に併せて、オリンピック2大会に陸上男子マラソン日本代表として出場した瀬古利彦さんの記念講演会が開催されました。

講演は同校が主催し、熊本地震復興支援講演会として町が支援。式典の参加者だけでなく、地域住民向けに町生涯

学習センターでのリモート視聴も行いました。

瀬古さんは、「心で走る」と題して、自身の競技人生を振り返りながら継続することの大切さなどを講演。「毎日の練習も情性で続けるのではなく、いつも新鮮な気持ちで取り組むことが重要。若い時こそ、目に見えない泥臭い練習をしつかりやること。失敗は考えずに今できることをやる」と訴えました。



▲記念講演で甲佐高生らに語り掛ける瀬古さん

「陣ノ内城跡」国史跡記念シンポジウム
「甲佐の財の魅力を探る」

記念講演 「地域史のなかの陣ノ内城」
講師 熊本大学永青文庫研究センター長 稲葉 継陽 氏

基調講演 「指定、そして保存活用へ」
講師 文化庁文化財第二課主任調査官 近江 俊秀 氏

パネルディスカッション コーディネーター
国立歴史民俗博物館名誉教授 小野 正敏 氏



「陣ノ内城跡」国史跡記念シンポジウム

この秋、本町初となる国史跡となった「陣ノ内城跡」。この城跡は、肥後国内の中世城郭として突出した規模を持ち、阿蘇氏から豊臣系大名による支配への転換期における政治的、社会的状況を考える上で重要なものとして評価されています。

11月13日（土）町および町教育委員会では、この新しい国指定史跡の誕生を記念したシンポジウムを開催しました。陣ノ内城跡を通してこのまちの歴史をひも解きながら、現代へとつながる先人たちの暮らしに思いを巡らせてみましょう。

■国指定史跡「陣ノ内城跡」の歴史的価値

陣ノ内城跡は、6月18日（金）国の文化審議会が文部科学大臣に対して国指定文化財「史跡」に指定するよう答申し、10月11日（月）の官報告示をもって正式に国史跡となりました。

県内の文化財が国指定史跡となるのは、平成26年指定の八代城郭群（八代市）以来7年ぶり。城郭に限れば、熊本城（熊本市）、人吉城跡（人吉市）、宇土城（宇土市）、田中城（和水町）、堅志田城（美里町）、佐敷城（芦北町）、棚底城（天草市）、八代城郭群（八代市）に次ぐ9番目です。

町社会教育課の上高原聡参事は、シンポジウムの冒頭で、これまでの調査などから明らかとなった陣ノ内城跡の歴史的価値について、

- ① 肥後国でも突出した規模を持ち、小西行長の城郭に見られる大規模な堀などの保存状態が良好
 - ② 緑川を活用した水陸交通の要衝にあり、土器の出土状況をしても阿蘇氏の時代から継続的に利用
 - ③ 阿蘇氏から豊臣系大名に転換する際の統治方法の変化の1つを示す
- ことなどを説明しました。町では、今後、この史跡の保存と活用に向けた計画づくりを住民の皆さんの意見も集めながら進めていきます。

新たな宝をこのまちの元気につなげる

町社会教育課
後藤 喜治 課長



町教育委員会では、国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」（昭和9年指定）以来87年ぶり2件目の国指定文化財となった国史跡「陣ノ内城跡」の魅力を伝えるためにPR動画を作成中です。私たちの暮らしに息づいている緑川流域の歴史や文化とともに、このまちの宝となった陣ノ内城跡の歴史的価値を広く発信しつつ、その保存と活用を通してまちの元気につなげていきます。

●お問い合わせ先
町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447

陣ノ内城跡の魅力を探るシンポジウム

今回のシンポジウムでは、これまでの調査で指導いただいた先生に陣ノ内城跡の魅力や活用について講演いただきました。ここでは、注目を集めた記念講演の一部をご紹介します。

なお、シンポジウムの様子は、町公式ウェブサイトで近日公開予定です。併せてご覧ください。



【記念講演】
地域史のなかの陣ノ内城

熊本大学永青文庫研究センター長
稲葉 継陽 さん

2008年から陣ノ内城跡調査専門委員を務める。元新甲佐町史編集委員。領国支配の成立過程を追求。また、熊本藩主細川家に伝来した織田信長文書や近世初期藩政史料などの研究に取り組む。

■甲佐を中心とした地域史のなかの陣ノ内城

甲佐を代表する史跡となった「陣ノ内城跡」。この文化財を適切に活用していくためには、この地域の文化資源との歴史的関連を把握し、理解を深めることが必要です。

甲佐神社や鶴ノ瀬堰、鮎築などが点在し、「阿蘇家文書」や「永青文庫細川家文書」などの古文書の記録も豊富な甲佐は、歴史文化資源のポテンシャルが高い地域と言えます。甲佐神社が緑川流域の勢力と結びつき、益城地域（旧下益

■益城郡の山と海をつなぐ甲佐神社

甲佐の地域史を語るために欠かせないのが、緑川と甲佐神社の存在です。平安末期に益城郡木原（熊本市富合町）を本拠地とする木原氏をはじめとした緑川流域の在地領主が「当国第二宮」甲佐大明神へ寄進を行うことで、甲佐神社は崇敬を集めていきました。



▲益城地域の鎮守を担ってきた甲佐神社

この社には緑川を通じて多くの供物が搬入されていたと考えられます。

鎌倉期の甲佐社直轄領は、港の小川（宇城市小川町）などに加え、それらの港と甲佐をつなぐ要所の海東（宇城市小川町）や堅志田（美里町）に分布。海の供物が甲佐神社に運ばれ、山の供物と交わる交易の核となった甲佐が見えてきます。また、竹崎（宇城市松橋町）の御家人だった竹



国立国会図書館デジタルコレクションより

▲竹崎季長が甲佐神社に奉納した『蒙古襲来絵詞』

崎季長が「蒙古襲来絵詞」を甲佐神社へ奉納し、幕府から海東郷を給与されたことへの感謝を示したのも、甲佐神社が13世紀の在地領主に崇敬・保護されていた典型です。

■内乱期・戦国期の益城地域の中心だった甲佐

14世紀に益城郡一帯を勢力圏とした阿蘇氏の恵良惟澄が本拠地の甲佐を中心に合戦を繰り広げたことから、郡内における甲佐の経済的・政治的地位は不動のものだったと言えます。16世紀中ごろになると矢部（山都町）を本拠地とする阿蘇氏の家臣団が益城郡一帯に拠点を築きます。戦国時代の甲佐は、矢部の本拠を維持しながら甲佐社領を核に益城郡一円の支配を目指す阿蘇氏にとって最重要地域となりました。

■小西行長の朝鮮出兵と陣ノ内城の築城

16世紀後半、朝鮮出兵を見据えて肥後に配置された加藤清正と小西行長にとって、八代海や有明海沿岸の港町支配は必須でした。八代・益城・宇土・天草を治めた行長は、加藤領との境界に位置する川尻港と緑川の水運を重要視。

矢部から川尻に至る緑川一帯の支配を強めるために、流域の中間点であり河川交通の要衝だった甲佐の地に大規模城郭・陣ノ内城を築城したと考えられます。

■加藤清正の治水事業と明治時代の近代化

その後、甲佐を統治した加藤清正は、緑川の流路制御と鶴ノ瀬堰の設置および水路整備を進めます。現在も大井手川として残るこの水路は物資輸送に活用され、岩下地区の発展につながりました。

明治になると、鶴ノ瀬堰で取水した水を利用する、西日本で最大かつ最初の製糸工場「緑川製糸場」が設置されます。日本初の官営富岡製糸場に遅れることなくわずか3年のできごとです。

■甲佐の文化歴史の象徴としての陣ノ内城

これまで見てきたように、甲佐の地は、中世・近世を通じて、益城郡の経済・宗教・政治（戦乱）の中心地でした。そこに築城された陣ノ内城は、豊臣政権による朝鮮出兵をも象徴するものです。甲佐の地域史を实地で学び、楽しむための整備と活用が大切です。

令和3年度

甲佐町功労者表彰

自治および特別功労の功績をたたえて

6人の功績をたたえて

11月3日（水）町生涯学習センターで、令和3年度功労者表彰式が開催されました。

表彰は、町が「町功労者表彰規程」に基づき、毎年文化の日に開催。本年度は多岐にわたり活躍し町に貢献された6人を表彰。町関係者や関係区長など20人程度に参加者を限定して開催しました。

式典では、受賞者一人一人に奥名克美町長が表彰状と記念品を贈呈。「自治」と「特別」の各分野において、功績をたたえました。

奥名町長は「自治功労を受賞される皆様は、地域の発展や安心・安全なまちづくりなどに大いに寄与していただきました。特別功労を受賞されるお二人は、明るい地域社会づくりや地域教育の実現に貢献いただきました。心からの敬意と感謝を申し上げます。引き続き本町の町政発展・地域振興に、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます」とあいさつ。続いて宮川安明町議会議長、本田裕一郎区長、副会長が祝辞を述べました。

受賞者を代表して、安達満雄さん（船津区）が「本日は立派な表彰式を開催していただき感謝します。これまでの経験を活かして、甲佐町への恩返しをしていければと思います」と謝辞を述べました。

令和3年度受賞者

特別功労



故宮本 松雄さん
〔南三箇区〕

甲佐町放課後子供教室（乙女小まつやま塾）コーディネーター・教育サポーター12年、いじめ不登校アドバイザー

特別功労



赤星 良一さん
〔緑町区〕

保護司14年

自治功労



田上 義隆さん
〔中横田区〕

交通指導員40年

自治功労



園田 豊さん
〔小鹿区〕

甲佐町嘱託員・区長17年、農業委員

自治功労



岡本 篤幸さん
〔古閑区〕

甲佐町嘱託員・区長10年、民生委員・児童委員、農業委員

自治功労



安達 満雄さん
〔船津区〕

甲佐町嘱託員・区長10年、交通指導員、固定資産評価審査委員会委員、民生委員・児童委員

【功労者説明】功労の表彰分野、功労者氏名、行政区、表彰に該当すると認められた経歴および功績など



▲奥名町長から感謝状を贈られた信和鋼板（株）の隈部佳克代表取締役社長（左）

■町から感謝状を贈呈
功労者表彰式に併せて、甲佐町表彰規程に基づく感謝状贈呈が行われ、信和鋼板（株）（福岡県北九州市）と仲原末人さん（船津区）にそれぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。
信和鋼板（株）からは熊本地震からの復興のために、仲原末人さんからは本町の発展のために、それぞれ本町へ多額のご寄附をいただきました。町では、2者からの寄附金も活用しながら、新しい甲佐のまちづくりを進めていきます。



▲防火啓発のため地域巡回に出発する甲佐町消防団の消防車両

甲佐町消防団が防火啓発パレードを実施

秋の全国火災予防運動

■甲佐町消防団が町内巡回で火の用心を呼び掛け

11月14日（日）町内全域で防火啓発パレードが行われました。

パレードは、11月9日～15日の秋の全国火災予防運動に合せて甲佐町消防団（井藤朋紀団長）が毎年実施。火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、防火意識を高めてもらうことで火災発生を防止し、尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

パレードに先立ち、井藤団長が「空気が乾燥し、火を扱う機会が増えるこれからの時期は火災が発生しやすくなります。呼び掛けを十分に行い、火災予防に努めましょう」と訓示しました。参加した団員ら約40人は、消防車両28台に乗り込み、宮内・甲佐・竜野・白旗・乙女の各地域に分かれて巡回。拡声器で「火の取扱いや始末に気をつけましょう」などと火の用心を呼び掛けました。

■本年の町内での火災発生件数は20件

町では、火災予防の啓発を図るため、町広報紙にて本年の火災発生累計件数をお知らせしています。本町における本年の火災発生件数は20件（11月15日現在）となっています。内訳は、家屋火災2件、原野火災8件、その他10件です。

町総務課消防係で消防主任を務める眞田洋彰主事は「本年は、町内での火災発生件数が昨年同時期に比べて全体で10件の増加となっています。火を使う機会が増えるこれらの季節に、火災から大切な人命や財産を守るためにも、皆さん一人一人が火の元の確認をより一層行っていただきますようお願いします」と改めて火の用心を呼び掛けました。

▼お問い合わせ先

町総務課

☎096・234・1140
（内線241）



▼瀬古利彦さん（左）と一緒に体育館をランニングする甲佐小児童たち



瀬古さんに走り方を学ぼう

甲佐小5・6年生が陸上教室に参加

10月29日（金）甲佐小学校体育館で、陸上男子マラソンで2度のオリンピック出場経験を持つ瀬古利彦さんらによる陸上教室が開催されました。町教育委員会が主催した同教室には、同小（武永春美校長）の5・6年生74人が参加。児童たちは、けがをしないための正しいストレッチ方法や速く走るためのコツを楽しく学びました。

瀬古さんは、甲佐高校創立100周年を祝う記念講演で来町し、世界陸上などで活躍した市河麻由美さんとともに甲佐小を訪れました。瀬古さんは児童たちに混ざってストレッチ方法や走る時の腕の振り方などを指導した後、体育館を一緒に走りながら走行時のフォームを確認。

白石竜日くん（甲佐小6年・横田区）は、「教わったストレッチを家でもしっかりやって、サッカーの練習や3学期の持久走大会に活かしたいです」と笑顔で話しました。

利用者の手でより良い公園に

クリーンキャンプミッション vol.5

10月16日（土）と17日（日）津志田河川自然公園（乙女河原）で、同公園の利用者有志による環境整備のボランティア活動が行われました。

同公園の利用者マナー向上に取り組む一圓仁さん（津志田区）が、環境美化とアウトドアマナーの啓発を目的に開催。5回目の開催となった今回は、SNSによる呼び掛けに応じて町内外から駆けつけた約70人が参加。秋晴れの下、公園内の除草作業やゴミ拾いに汗を流しました。



▲草刈機などで園内の除草作業を行うボランティアたち



▲懸命にバトンをつなぐ乙女小児童たち

心を一つにして笑顔を広げよう

令和3年度乙女小学校運動会

10月16日（土）町内の各小学校で運動会が行われ、児童たちが徒競走や応援合戦に汗を流しました。

コロナ禍の運動会は、昨年に引き続き、開催時期の変更とプログラム短縮が行われ、午前中のみ開催となりました。

乙女小学校（金崎健次校長）では、受付時の検温や観覧席の地区指定などを実施。児童たちも全体練習をできる限り避けながら、準備を進めてきました。

開会式で金崎校長は「優勝よりも大切なのは、皆さんの笑顔がたくさん見られることです。期待しています」とあいさつしました。

新商品を開発しよう

乙女小児童が商品開発を体験

10月21日（木）乙女小学校で、米菓の製造などを手掛ける木村のあられ甲佐工場（芝原）の出前授業が行われました。

子どもたちの食育に積極的に取り組む同社が同小（金崎健次校長）に体験授業を提案したのがきっかけ。稲刈り体験などを通して米作りを学んでいる5年生23人が、同工場の製造や商品企画の担当者のお話を聞きながら、新しい商品づくりに挑戦しました。子どもたちの案を基にした試作品は、今後、授業での試食会などを経て、商品化される予定です。



▲あられの製造過程や商品について学ぶ乙女小児童



▲屋台や竹あかりを楽しむ来場者たち

子どもたちに地域の祭りを届けよう

やなした夜市竹あかり

10月23日（土）～31日（日）豊内のやな下公園で「やなした夜市竹あかり」が開催されました。

昨年末、コロナ禍の終息を願って北里護さん（緑町区）が友人らと始めた取り組みを今年は規模を拡大して実施。会場には大小さまざまな竹灯籠約90基が並び、闇夜に浮かび上がった光のアートが来場者の目を楽しませました。

30日と31日の2夜には、地域住民らでつくる甲佐竹あかり実行委員会が夜市を開催。綿菓子や焼きそば、駄菓子屋などの屋台は、多くの子どもたちでにぎわいました。

坂口選手と井元選手が九州大会に参加

KYFA 第26回九州U-15女子サッカー選手権大会



▲第26回九州U-15女子サッカー選手権大会を戦った熊本ユナイテッドS.C.フローラの坂口選手（左）とフレグラント熊本の井元選手

10月30日（土）～11月1日（月）長崎県で開催された第26回九州U-15女子サッカー選手権大会に熊本ユナイテッドS.C.フローラに所属する坂口愛莉選手（甲佐中3年・緑町区）とフレグラント熊本に所属する井元沙姫来選手（甲佐中1年・下横田区）が参加しました。

16チームによるトーナメント戦にセンターバックとして出場した坂口選手は、初戦を無失点に抑えるなど活躍を見せました。今大会でチームを引退する坂口選手は「二試合目は悔しい結果となりましたが、チームメイトたちと一緒にサッカーができて良かったです」と感想を話しました。

創部3年目で初の九州大会出場のフレグラント熊本は初戦と2回戦をいずれも1対0で突破。続く3回戦と3位決定戦で敗れるも全国大会への切符を手に入れました。2試合に出場した井元選手は「強豪チームのプレーを見れたのは良かったです。全国大会でチームの力になれるよう練習に励みます」と12月11日（土）に開幕する全日本U-15女子サッカー選手権大会への決意を話しました。

マイナンバー（個人番号）を確認しましょう



詳しくは町住民生活課へお尋ねください

■確定申告の際に提示や記載が必要です

マイナンバー（個人番号）は、1人に1つだけの番号で役所での手続きなどに必要となる大切なものです。すでに、社会保障分野や税分野などにおいて利用が開始されています。

令和4年2月の確定申告には、個人番号（マイナンバーカードなど）の提示および申告書への記載が必要となります。ただし、通知カードに記載されている住所や氏名が、住民票と一致しない場合は、使用できません。

■マイナンバーカードを作りますか

マイナンバーカードは個人番号が記載された顔写真付きのセキュリティ

の高いカードです。公的な身分証明書としても広く活用できます。

カード内のICチップには利用者用電子証明書と署名用電子証明書が搭載され、e-Tax（国税電子申告・納税システム）などの文書の提出を伴う電子申請などに利用されます。

マイナンバーカードを希望される方は、申請により初回は無料で交付されます。申請から1カ月ほどでカードが完成し、町住民生活課窓口での本人確認後、直接交付となります。

現在、町住民生活課窓口では職員が無料で顔写真を撮影するなど、マイナンバーカードの申請サポートを行っています。

交付されたカードは確定申告にも使用できますので、e-Taxをご利用予定の方は、お早めに申請をお願いします。

※マイナンバーカードを紛失した場合は届け出が必要です。詳しくは町住民生活課にお尋ねください。

お問い合わせ先
町住民生活課

096-234-1113
(内線101)

町住民生活課 096-234-1113(内線101)

年末年始のごみ収集・し尿くみ取り計画【12月24日（金）～1月4日（火）】

●家庭ごみ収集

	収集地区	収集日	クリーンセンターへの直接持ち込み
年末	星の川団地、立岩団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	12月27日（月） 12月30日（木）	・通常持込期限 12月29日（水） ・通常持込時間 午前9時～午後4時30分 ・持込料 100円/10ℓ ※個人の持込可 ※時間厳守
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	12月24日（金） 12月28日（火）	
年始	星の川団地、立岩団地・竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	1月6日（木）から	1月4日（火）から通常持ち込み可
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	1月4日（火）から	

▶お問い合わせ先 御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター） 096-282-0688

●し尿くみ取り

	収集地区	くみ取り日	備考
年末	全地区	12月28日（火）まで	年末は非常に混み合いますので、早めにし尿くみ取り業者にお申し込みください。
年始	全地区	1月4日（火）から	通常受け入れ可

▶お申し込み・お問い合わせ先

- ・宮内地区、甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部、星の川団地①）、竜野地区、乙女地区、白旗地区（有）甲佐衛生社 096-234-1217
- ・甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部を除く、星の川団地②）米村衛生（有） 096

町環境衛生課 096-234-1169

国民年金

年金生活者支援給付金制度のご案内



対象者にはこの封筒が届きます

収入などが一定基準額以下の年金受給者を支援します

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されているものです。

支援給付金の受給資格対象となる要件

受給対象となるには、次の要件をすべて満たしている必要があります。ただし、いずれの場合も障害年金などの非課税収入は、年金生活者支援給付金の判定に用いる所得には含まれません。

- ▼老齢基礎年金を受給している方
- ・65歳以上であること
- ・同一世帯の全員が町民税非課税であること

- ・前年の年金収入額とその他の所得額の合計が88万1200円以下であること

障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方

- ・前年の所得額が472万1000円以下であること
- ※給付額は扶養親族等の数に応じて増額されます。

請求手続きについて

新たに年金生活者支援給付金を受給できる人

受給対象となる人には、日本年金機構から請求可能な旨のお知らせが送付されます。同封のハガキ（年金生活者支援給付金請求書）に必要事項を記入し、提出してください。

これまで年金生活者支援給付金を受給していた人

日本年金機構が引き続き支給要件に該当しているか確認し、支給することとなります。

10月支払い分から支給金額が変更となる人には「年金生活者支援給付金支給金額改定通知書」が、不該当となる人には「年金生活者支援給付金不該当通知書」がそれぞれ送付されています。ご確認をお願いします。

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線104) 熊本東年金事務所 ☎096-367-2503

国民健康保険

国民健康保険資格の適正な適用にご協力をお願いします

町では、毎年12月を「国民健康保険制度適用適正化月間」とし、国民健康保険の資格の適正な管理と業務の効率化を図ることなどを目的として、社会保険などの適用対策の推進に努めています。

国民健康保険の加入や脱退に関する届け出をお忘れなく

国民健康保険は、74歳までの社会保険（職場の健康保険で共済・船員保険も含む）の被保険者およびその被扶養者を除くすべての人に加入していただく制度です。

社会保険を脱退または加入など資格の変更があった場合は、町住民生活課へ届け出をお願いします。

12月は国民健康保険制度適用適正化月間



国保に関する届け出は町住民生活課まで

国民健康保険への届け出が必要なもの

国民健康保険への加入届

社会保険を脱退した場合に届け出が必要です。

手続きに必要なもの

社会保険を脱退した証明書または離職票、マイナンバーが分かるもの、印かん

国民健康保険の脱退届

社会保険に加入した場合に届け出が必要です。

手続きに必要なもの

社会保険被保険者証、国民健康保険被保険者証、マイナンバーが分かるもの、印かん

社会保険の被扶養者になれる場合がありますのでご確認ください

同じ世帯に社会保険の被保険者がいる場合、その保険の被扶養者として認定されることがあります。扶養認定できるかはお勤め先にご相談ください。

所得の申告はお済みですか

国民健康保険税の軽減判定などに必要ですので、国民健康保険の加入者で所得の申告がお済みでない人はご相談ください。

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線106)

Library

町生涯学習センター図書室からの12月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の貸出について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

作家生活20周年の集大成となる1冊

伊坂 幸太郎著 / 『ペッパーズ・ゴースト』



朝日新聞出版
小説

中学校の国語教師である檀は、ある条件下で他人の明日が少しだけ観える特殊能力を持つ。彼は生徒から、奇妙なコンビが暴れまわると小説原稿を渡されるが、その小説内の2人組「ネコジゴハンター」とは…？物語の中に巻き込まれていくような感覚で面白く楽しく、それでいて考えさせられる、エンターテインメント長編です。

クリスマスのすてきな魔法の旅

J.K.ローリング 著 / 『クリスマス・ピッグ』



静山社
児童書

主人公の少年ジャックは、口うるさい子ブタのぬいぐるみと魔法の旅を始めます。失われたものを取り戻し、ジャックの一番の親友を見つけるために…。ハリーポッターシリーズの著者が描く、クリスマスのすてきな魔法の旅。ワクワク、ハラハラ、ドキドキの長い旅で見つけることのできた宝物と愛情に、心温まる冒険物語です。

2022年大河ドラマの時代背景

本郷 和人著 / 『日本中世史最大の謎！鎌倉13人衆の真実』



宝島社
一般書

源頼朝の死後、即位した2代将軍・頼家。若き将軍を補佐する名目で敷かれた13人の合議制だったが…。2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」もこの合議制に名を連ねた武将の生き様を描くものです。本書はこの鎌倉13人衆について、ビジュアル資料で分かりやすく解説しています。歴史の謎に迫る興味深い1冊です。

シニアの健康に簡単レンジ調理！

村上 祥子 著 / 『80歳、村上祥子さんの元気の秘訣は超かんたんレンジごはんだった！』



世界文化社
教養娯楽

シニアの健康の決め手は、「長生き調味料」と電子レンジ！80歳の現役料理家・村上祥子が、筋肉、骨、腸を健康に保つための電子レンジ調理のレシピを紹介しています。効率よく栄養素を取り込むため、全8種類の「長生き調味料」をベースに食材を組み合わせ、電子レンジで加熱するだけ。簡単に1人分でも美味しいレシピ集です。

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447 (内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私のおすすめする本は「とにもかくにもごはん」です。この本は、亡き夫との思い出をきっかけに「クロード子ども食堂」を開いた波子の物語です。

政府が発表している貧困率は、子どもの6人に1人が貧困状態にあると、この本に書いてありましたが、皆さんはご存じでしたか。ショッキングな数字であると思います。

今月の案内人



宮本 明美さん
(中早川区)

1クラス30人～40人とすれば5～6人の人数になります。この物語の「クロード子ども食

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『とにもかくにもごはん』(小野寺 史宣著)

子ども食堂を取り巻くひとたちの生きづらさと希望を描く、老若男女群像劇。みんないろいろあるけど、あたにかいごはんを食べれば、きっと元気になれるはず。

堂」には、小学生から68歳のおじいちゃんまで、みんな様々な事情を抱えてやってきます。子どもは無料、大人は300円です。栄養バランスや材料費などを考え、子どもから大人まで食べやすく喜んでもらえるよう工夫してメニューを出しています。みんな色々あるけれど、温かいご飯を食べて、ちょっと元気になって帰っていきます。物語の最後には、主人公の波子に感動

の出会いがあり、心がほっこりする読後感です。たくさんの方に読んでいただきたい1冊です。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447 (内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶町生涯学習センター事業のご案内

クリスマスコンサートを開催します

町教育委員会が主催する自主文化事業としてクリスマスコンサートを開催します。

新型コロナ対応のため参加希望者は町社会教育課まで事前予約をお願いします。

●開催日時

12月18日（土）午前10時30分開演

●会場

町生涯学習センター・ホール

●出演

岩井宏司さん（コントラバス）
櫻野貴史さん（ヴァイオリン）
藤本史子さん（ピアノ）
小路永和奈さん（琴）

●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447（内線321）

町公民館主催講座 のし袋の書き方を学ぶ

10月26日（火）町生涯学習センターで、ステップアップ講座「のし袋表書き」を開催しました。

同センターでは、毎日の生活を楽しむためのきつ



▲参加者の書いた字を修正する伊藤さん親子（左）

がのし袋の書き方や筆ペンの使い方について学びました。

伊藤さんは、筆ペンの握り方や手の添え方などの基本を指導。参加者は伊藤さんの手書きの手本を見ながら、自身の氏名や「御祝」「香典」などの字を練習。伊藤さんの助言を受けながら楽しく学びました。

町公民館出前事業

特殊詐欺へ備えよう

10月27日（水）南三箇公民館で出前講座が開催され、参加者は「電話で『お金』詐欺（振り込め詐欺）への備えを学びました。講師を務めた町くらし安全推進室の佐々木善平室長は、参加した南三箇区の高齢者10人に、「被害者の7

割は男性？」などの特殊詐欺被害に関するクイズを出題しながら、年間400億円あまりにのぼる被害額の大きさを説明。最近の手法と被害への備えを解説しました。佐々木室長は「詐欺は年々手口が新しくなります。被害に遭わないためには、私たちも詐欺の手口について学び、備えることが大切です」と日ごろからの注意を訴えました。



▲佐々木さんから詐欺について説明を受ける南三箇区の参加者

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■アイヌの人々の人権

アイヌの人々は、北海道などに先住していた民族であり、固有の言語、伝統的な儀式・祭事、多くの口承文学（ユーカラ）など、独自の豊かな文化を持っています。

明治以降のいわゆる同化政策の中で、アイヌの人々の生活を支えてきた狩猟や漁労は制限、禁止され、また、アイヌ語の使用などの伝統的な生活慣行の保持が制限されました。このため、民族の誇りである文化や伝統は、十分に保存、伝承されているとは言い難い状況にあります。

さらに、アイヌの人々に対する理解が十分でないため、偏見や差別の問題が依然として存在しています。

●どんな取り組みが行われていますか

関係する主な法律等は下記の4つです。

- ・先住民族の権利に関する国際連合宣言(2007国連総会で採択)
- ・アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（1997制定）
- ・アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議（2008衆参両院で採択）
- ・アイヌの人々の誇りが尊重される

社会を実現するための施策の推進に関する法律（2019制定）

熊本県では、民族や生活様式といった文化の違いに対する県民の寛容性を育むためにも、アイヌの伝統などに関する知識の普及啓発に努めるとともに、アイヌの人々に対する偏見や差別の解消に向けた啓発活動に取り組んでいます。

人権研修テキスト（人権全般編）より作成

●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447（内線324）

姿勢改善とストレッチで 肩こりを解消しましょう

◆肩こりは日本の国民病

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大によって、家で過ごす時間が長くなり、体を動かす機会が減った人も多かったと思います。また、テレワークやオンライン授業でパソコンやタブレットを使用する時間が増え、同じ姿勢で長時間過ごすことも多かったのではないのでしょうか。

これらが原因の1つとなって起るのが「肩こり」です。特に冬は寒さによって身体がこわばり、肩こりに悩む人が増加します。厚生労働省が行っている国民生活基礎調査では、男女とも気になる自覚症状の上位に「肩こり」が

ランクインしています。また、小学生の「4人に1人」は肩こりに悩み、中学生以上ではもっと多くの子どもたちが肩こりの症状を持っているというデータも報告されています。「肩こり」はもはや国民病と言っても過言ではありません。

◆肩こりの症状と原因

肩こりとは、首から肩、背中にかけて広がる「僧帽筋」という筋肉が硬くこわばり、痛みや不快感を生じることです。肩こりが原因で、関節に負担がかかり、やがて病気を発症し、肩が動かなくなったり、強い痛みを感じたりすることもあります。

肩こりの原因は、

- ・体をゆがませる「悪い姿勢」
- ・肩の筋肉の「緊張」
- ・「目の疲れ」

などです。血流が悪くなり、乳酸などの物質が肩や首の筋肉にたまって、こりが生じます。肩や首のこりが精神的なストレスになり、さらに血流が悪くなるという悪循環も生まれ、こりはなかなか解消されません。

◆姿勢を確認しましょう

よい姿勢は肩こり予防の第一歩です。普段の自分の姿勢を鏡の前や他の人に見てもらって確認してみましょう。

▼姿勢のチェックポイント

- ・立ったときに肩先が左右均等・水平になっているかどうか
 - ・立ったときに骨盤の位置が左右均等・水平になっているか
- ※姿勢をチェックするときは、普

通に立った状態で軽く目を閉じ、一瞬肩を持ち上げて、力を抜きましょう。この状態で目を開けて確認してください。

◆肩こりの予防・改善方法

肩こりを予防し、悪化を防ぐために、次の3点を心掛けましょう。

▼よい姿勢を維持する

①立ち姿勢

横から見て「耳たぶ」「肩の出っ張り」「大腿骨の外側の出っ張り」「くるぶしの外側」が一直線になる。

②座り姿勢

横から見て、「耳たぶ」「肩の出っ張り」「大腿骨の外側の出っ張り」が一直線になる。椅子にはやや浅めに腰掛ける。

▼緩めて、伸ばして、血行改善

①身体を温める
こりがある部分にカイロを貼るなど、身体を温めることで血流が改善します。

②背中や肩のストレッチを行う
ストレッチはゆっくり、こまめに実施することが大切です。痛みを感じることはない程度に実施しましょう。

▼十分な睡眠と栄養を摂る

質のよい睡眠は、自律神経のバランスを整え血流を改善します。筋肉の疲労回復のために、タンパク質やビタミンB群を摂りましょう。

健康だより

肩こり

の話

このコーナーでは、町職員である保健師、管理栄養士、社会福祉士などが、健康や福祉、介護などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の紹介者は

藤本 佑子 保健師

肌寒い日が増え、外を歩くことがためらわれる季節になりました。家の中で身体を動かさずにじっとする時間が長くなり、肩こりがひどくなったりしていませんか。適度な運動を取り入れながら、この寒い冬を乗り切りましょう。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



石山 善 くん (3歳3カ月)

父・諒 さん 母・莉奈 さん
(芝原区)

ばあば、また一緒に
お出かけしよーねー！

石山 遵 くん (1歳6カ月)

父・諒 さん 母・莉奈 さん
(芝原区)

じいじ、いつも
遊んでくれてありがとー！



★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町健康推進課
(町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8711

12・1月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

12月16日(木) 午前9時

1月20日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

12月16日(木) 午前10時

1月20日(木) 午前10時

+ ピカピカ1歳教室

12月3日(金) 午前9時20分

+ 1歳6か月児健診

1月11日(火) 午後1時

+ すくすく2歳児子育て相談

12月17日(金) 午前9時20分

+ 3歳児健診

1月11日(火) 午後1時20分

Child-Care

12月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園

☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園

☎096-234-0013

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園

☎096-234-0519

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園

☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所

☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 甲佐町子育て支援センター

(竜野保育園内)

☎096-234-0305

1日(水) 空飛びボン遊び

3日(金) お絵かき

6日(月) トンネル遊び

8日(水) お散歩へ出かけよう

10日(金) シール遊び / 就労無料相談会

13日(月) パズルで遊ぼう

15日(水) クリスマスリース作り

17日(金) ブロック遊び

20日(月) クリスマス帽子作り

22日(水) 風船遊び

24日(金) クリスマス会(要予約)

27日(月) カレンダー作り

育児相談(電話・面接)
月～金曜日 午前9時30分～午後4時
体験保育
月・水・金曜日 午前9時30分～正午

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先
・町健康推進課
(町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8711
・町福祉課
☎096-234-1114
・町住民生活課
☎096-234-1113

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

Town Development

こうさのまちづくり (甲佐町まちづくり協議会)



▲井戸江峡交流拠点施設で花火職人の指導を受けながら自分だけの線香花火づくりに挑戦する家族連れ

「筒井時政玩具花火製造所」(福岡県みやま市)の職人が作り方を指導しました。参加者は、準備された火薬を和紙に包みながら、自分だけの線香花火づくりを楽しみました。

■古民家ホテル開業1周年記念イベントを開催
昨年11月に築130年の古民家を改修して開業したホテル『NIPPONIA 甲佐 疎水の郷』(一社)パレット(大滝祐輔代表)が運営に参加するこの宿は、「地域とゆるやかにつながる縁側」をコンセプトとして、宿泊客や来場者が地域の皆さんとの交流を楽しむきっかけを提供しています。

■自分だけの線香花火
夏の夜の風物詩として、多くの人が懐かしさを覚える線香花火は日本独自の文化の1つです。しかし、国産の線香花火メーカーは全国で3軒のみ。そのうちの1つ「筒井時政玩具花火製造所」(福岡県みやま市)の職人が作り方を指導しました。参加者は、準備された火薬を和紙に包みながら、自分だけの線香花火づくりを楽しみました。

自然豊かなキャンプ場で楽しむ
国産線香花火づくりワークショップ

●お問い合わせ先
・(一社)パレット
palette.kosa@gmail.com
・NIPPONIA 甲佐 公式サイト
https://nipponiakosa.jp/

地域に根差した宿泊施設を目指して

たくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございました。当施設も地域の皆さんのおかげで開業1周年を迎えることができました。今後も、地域の魅力を発信しつつ、交流を深める機会をつくっていきます。



(一社)パレット
柴尾 拓郎さん

Fitness

甲佐町フィットネスセンター

簡単腹筋トレーニングで お腹を引き締めよう！

肌寒い日が続いていますが、いかがお過ごしですか。

今回はボールを使った「腹筋トレーニング」を紹介します。運動が苦手な方も無理せずにお腹を引き締めましょう。

今月の講師



福島 聡子さん
〔看護師〕

■トレーニングの手順
① 床に座りボールを床と腰の間に挟みます。手は胸の前でクロスさ

せ、上体は起こしておきます。
② 上体をゆっくりと後ろに倒していきます。上体を倒す角度によって強度が変わります。
③ ボールの反発を使わずに、ゆっくりと最初のポジションに上体を戻します。

■トレーニングのポイント

首の角度を固定し、上体を倒しながら視線を移しましょう。ボールを使用した腹筋運動は、腰痛や首の痛みをお持ちの方でも安心して実施できます。腹筋を鍛えることでぽっこりお腹を解消しましょう。

筋力トレーニング「腹筋」



▲ボールで腰を支えることで、腰痛の方でも無理せず腹筋運動を行えます。

●お問い合わせ先
甲佐町フィットネスセンター
(町総合保健福祉センター内)
096-235-8712

Events Calender

甲佐町イベントカレンダー【12月】

日	月	火	水	木	金	土
11/28 【日曜当番医】 谷田病院	11/29 口座振替日 (町税務課)	11/30 納期限 夜間窓口 (町税務課)	1	2 消費生活相談 (老人いこいの家)	3 ピカピカ1歳教室 (町総合保健福祉センター)	4
5 【日曜当番医】 桃崎整形外科 通常収集しない ごみの収集 (町環境衛生課)	6 法律・人権・ 行政相談 (町民センター)	7	8	9 消費生活相談 (老人いこいの家)	10	11
12 【日曜当番医】 荒瀬病院 マイナンバーカード 予約者優先休日窓口 (町住民生活課)	13	14	15 認知症についての 相談会 (町福祉課)	16 4か月児健診 7か月児健診 (町総合保健福祉センター) 消費生活相談 (老人いこいの家)	17 すくすく2歳児 子育て相談 (町総合保健福祉センター)	18 クリスマスコンサート (町社会教育課)
19 【日曜当番医】 谷田病院	20 納期限 夜間窓口 口座振替日 (町税務課)	21	22	23 消費生活相談 (老人いこいの家)	24	25
26 【日曜当番医】 小屋迫医院 マイナンバーカード 予約者優先休日窓口 (町住民生活課)	27	28 夜間窓口 (町税務課) マイナンバーカード 予約者優先夜間窓口 (町住民生活課)	29 年末年始閉庁日 (～1/3)	30	31	1/1 元日 【休日当番医】 荒瀬病院

※やむを得ず中止・延期になる場合があります。詳細については、町公式ウェブサイトや防災行政無線などをご確認ください。

今月のお知らせ

12

December 2021

Monthly Information

お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会
(町生涯学習センター)
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
(社)甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
(クリーンセンター)
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111 (代表)
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111 (代表)

町からのお知らせについては、詳しくは町公式ウェブサイトをご覧ください。

🌐 <https://www.town.kosa.lg.jp/>

お知らせ

後期高齢者の歯科健診
受診は12月31日(金)まで

町では、後期高齢者医療被保険者を対象とした歯科口腔健診を実施しています。受診期限が近づいています。早めの受診をお願いします。

受診希望者は、事前に対象の歯科医院に予約し、被保険者証と受診券、自己負担額400円を準備してください。歯科健診の詳細は、町住民生活課へお尋ねください。

▼受診期限

12月31日(金)

※歯科医院の休診日を除く

▼実施場所

町が契約している歯科医院
※受診可能な歯科医院の詳細はお尋ねください。

▼自己負担額

400円

▼検査項目

問診、歯・入れ歯の状況、かみ合わせ、口腔内の状況、飲み込む機能など

▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎096-234-1113

(内線107)

年末年始の旅券申請・交付受付について

町では、パスポート(旅券)の申請・交付受付を行っています。

パスポートの交付申請から受け取りまでの手続きに9日間(土・日曜日、祝日および年末年始を除く)が必要です。

12月29日(水)から令和4年1月3日(月)までの期間は、旅券申請・交付窓口は休みです。申請が必要な場合は、余裕を持って早めに町住民生活課窓口までお越しください。

▼申請受付時間

月・金曜日 午前9時～午後

後4時30分

※土・日曜日、祝日および年末年始を除く

▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎096-234-1113

(内線104)

上益城消防本部が動画配信チャンネルを開設

上益城消防本部では、公式YouTubeチャンネルを開設し、消防の仕事などの動画を配信中です。今後、消防器の使い方や119番での伝え方などについて配信していきます。

「上益城消防本部」で検索して、ぜひご覧ください。

▼お問い合わせ先

上益城消防本部総務課

☎096-282-1959

平成28年熊本地震で被害を受けた皆様へ

平成28年熊本地震により被

害を受けられた人は、所得税などの軽減または免除を受けることができる場合があります。

平成28年分の還付申告は、令和3年12月末までに提出する必要があります。まだ手続きがお済みでない場合は、お早めにご相談ください。

申告相談は、事前に電話などによる相談日時の予約をお願いします。

詳しくは、熊本国税局ホームページが最寄りの税務署にお尋ねください。

▼お問い合わせ先

・熊本東税務署
☎096-369-5566

災害復興住宅融資の受付を延長

平成28年熊本地震で被災した住宅を復旧するための「災害復興住宅融資(建設資金、購入資金、補修資金)」の借入申込の受付期限を延長しま

doctor

日曜当番医

月 日	当番医	電話番号
12月5日	桃崎整形外科	096-235-8111
12月12日	荒瀬病院	096-234-1161
12月19日	谷田病院	096-234-1248
12月26日	小屋迫医院	096-234-0165

tax

町税などの滞納処分(10月分)

種 別	件数・金額など
捜 索	2件
差し押さえ件数	11件
公 売 回 数	1回
公 売 件 数	4件
滞納処分関連収入	333,764円

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第99回～

「府領の塚畑」 北里 義友 町文化財保護委員（津志田区）

「府領の塚畑」は府領区公民館から北西へ約300mのところにある、15坪ほどの塚です。

戦国時代の天正8年（1580）、阿蘇郡・益城郡・宇土郡一帯を治めていた阿蘇大宮司惟将（あそだいぐうじこれまさ）の家臣であった隈庄城主甲斐守昌（かいもりまさ）が反旗を翻し、薩摩の島津氏と手を組みました。そのため、惟将の命を受けた御船城主甲斐宗運（かいそううん）は早川城主渡辺越前守吉秀（わたなべえちげんのかみよしひで）、甲佐（松尾）城主伊豆野山城守武綱（いずのやましろのかみたけつな）を率いて隈庄城を攻めました。これは「隈庄合戦」と言われています。

この合戦に早川の円福寺住職春蔵主（しゅんぞうず）も参戦しましたが、命を落としてしまいま

した。そのため、共に従軍した弟子の善忠（ぜんちゅう）が住職の敵（かたき）をとり、住職の首と敵将の首を携えて円福寺の末寺児成庄（まつじ こなりのしょう）（現在の府領）本営寺に帰りました。戦いの様子を聞いた本営寺の老僧善仲（ぜんちゅう）は死者を哀れみ、早川勢の亡き骸（なきがら）を見分けて早川へ送り、どちらの者か分からない亡き骸はこの地に埋葬し死者を悼みました。

現在でもこの地は「塚畑（つかばたけ）」または「首塚（くびづか）」と呼ばれています。



「隈庄合戦」で命を落とした者を祀る首塚

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課

☎ 096-234-2447（内線 322）

した。お申し込みをご検討の場合は、お早めにご相談ください。

▼延長後の申請期限

令和4年5月31日（火）

▼お問い合わせ先

住宅金融支援機構お客さまコールセンター（通話無料）

☎ 0120・086・353

開催

令和4年甲佐町成人式のご案内

町では、新成人の皆さんの新たな門出を祝福して「甲佐町成人式」を次のとおり開催します。

▼日時

令和4年1月9日（日）

・受付開始 午前9時～

・写真撮影 午前10時～

・式典開始 午前10時30分～

▼会場

町生涯学習センター・ホール

▼対象

平成13年4月2日～14年4

月1日生まれの人で、現在甲佐町に在住している人または甲佐中学校を卒業された人

▼開催のご案内

対象者には、11月上旬に開催案内を送付しています。案内が届いていない場合は、町

※新型コロナウイルス感染症の影響などにより、開催の中止や式典内容の変更などがある場合は町公式ウェブサイトでお知らせします。

▼お申し込み・お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096・234・2447

（内線322）

第81回科学展をオンライン開催

県内の児童生徒が夏休みの自由研究やクラスで取り組んだ科学研究物の中から選出された約120点をホームページにて公開しています。詳しくは、「熊本県 科学展」で検索！

▼掲載場所

熊本県立教育センター公式

ウェブサイト内「科学展」ページ

▼お問い合わせ先

熊本県立教育センター理科

研修室

☎ 0968・44・6613

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量（10月分）

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	200,920	▲4,710	▲4,400
資源ごみ	24,430	▲6,720	▲7,510
粗大ごみ	5,070	▲740	▲3,230
合計	230,420	▲12,170	▲15,140

※単位：kg

traffic safety

事件・事故件数

種別	発生件数	
	10月	年累計
人身事故	1	6
物損事故	14	114
盗難など	0	1

10月30日現在

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	2	（1）
原野	8	（7）
その他	10	（4）
合計件数	20	（12）

11月15日現在（カッコ内は前年比較）

募集

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集中

町および甲佐町農業委員会は、農業委員および農地利用最適化推進委員を募集しています。

▼農業委員

農業委員は、農業に関する見識を有し、農地などの利用の最適化を推進します。

●主な業務

- ① 転用違反などの是正指導
- ② 遊休農地の発生防止および解消に向けての調整
- ③ 許認可に伴う業務
- ④ 毎月の農業委員会定例会総会などへの参加

●募集人数

14人

▼農地利用最適化推進委員

農地利用最適化推進委員は、

農業委員と密接に連携し、農地利用の集積・集約化・耕作放棄地の発生防止・解消といった活動を行います。

●主な業務

- ① 人・農地プランなどの地域の農業者との対話の推進
- ② 農地の出し手と受け手へのアプローチを行い、農地利用の集積・集約化を推進
- ③ 耕作放棄地の発生防止と解消を推進
- ④ 農地中間管理機構と密接な連携を図る

●募集人数

10人

▼任期

いずれの委員も、令和4年4月1日（金）から令和7年3月31日（月）までの3年間

▼募集期限

12月14日（火）午後5時15分必着（消印有効）

▼申し込み方法

町農政課窓口や町公式ウェブ

障がいのある方の職業訓練生を募集します

県立高等技術専門学校では、障がいのある方を対象とした職業訓練を行っています。次の期間の訓練生を募集します。

▼受講対象者

身体（聴覚・上肢・内部）、精神、発達、難病、高次脳

▼定員

8人

▼内容

事務職に必要なワードなど

ブサイトにある、それぞれの委員の推薦・応募書類ならびに履歴書に必要事項を記入し、期限までに直接または郵送で町農業委員会事務局まで提出してください。郵送の場合は消印有効とします。

▼お問い合わせ先

町農政課

☎096・234・1176

（内線153）

Topics

こうさの話題

■コミュニティ助成事業を活用して小型動力ポンプを整備

10月24日（日）甲佐町消防団第1分団第8部（宮内地区）に宝くじの助成金で整備した小型動力ポンプが配備され、消防団員や宮内地域の各自主防災組織の代表が放水操作などを確認しました。

コミュニティ助成事業は、地域防災のリーダーとなる消防団の装備拡充と地域住民の協力体制構築を支援する事を目的に（一財）自治総合センターが実施するもの。宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじ受託事業収入を財源に実施しています。

本年度は、急激な人口減少が進み



▲助成事業を活用して整備した小型動力ポンプの操作手順を学ぶ参加者

地域防災力の低下が深刻な宮内地区の消火対応能力向上を目的に、運搬が比較的容易な小型動力ポンプを整備。地域在住の消防団員2人とともに、住民らがいざという時の活用方法を学びました。

●お問い合わせ先 町総務課 ☎096 - 234 - 1140

甲佐町総合型地域スポーツクラブ
「T-YOUスポーツ&カルチャークラブ」
12月のアユスポ・カレンダー

卓球教室

柳井博志くん（岩下一区）
田上阜弥くん（緑町区）
卓球って楽しいよ！

●スポンジテニス教室 &
バドミントン教室

甲佐小体育館
月曜日（祝日除く） 午後7時30分

●少年柔道スクール

甲佐中武道館「甲心館」
・中学生の部
月・水・木・金・日曜日
・小学生の部
月・水・金曜日
いずれも午後7時

●卓球教室

町生涯学習センター・ホール
水・金曜日（祝日除く） 午後7時

●ノルディックウォーキングスクール

甲佐町役場周辺
第1・2・3月曜日 午前10時

●トランポリンスクール

特別養護老人ホーム桜の丘
金曜日 午後5時30分

●サッカースクール

甲佐中グラウンド など
火・木・金曜日 午後7時
土・日曜日 不定期

●女子サッカースクール

甲佐中グラウンド など
水・金曜日 午後7時30分
土・日曜日 不定期

●放課後自習室

デイサービスセンター「しゃらの樹」など
月～金曜日 午後4時30分

■お問い合わせ先

町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447（内線325）

ご支援ありがとうございます

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、ありがとうございます。氏名掲載に同意いただいた寄附者の皆さんを一部ご紹介します。

▶ご寄付いただいた皆様

お名前	ご住所
・蜂谷 英明様	東京都
・深町 明人様	神奈川県
・松本 祐知様	茨城県
・河野 智 様	静岡県
・小田 将也様	岡山県
・大塚 晃一郎様	石川県
・西尾 佳 様	長野県
・高羽 亜紀様	愛知県
・西村 稔 様	愛媛県
・細矢 光輝様	東京都
・石川 一輝様	神奈川県
・三宅 知博様	京都府
・萩原 雄一様	鹿児島県
・宮尾 英人様	東京都
・森園 智也様	和歌山県
・安孫子るり子様	新潟県
・佐藤 文裕様	北海道
・野方 敬太様	神奈川県
・山田 健太郎様	千葉県
・田中 幸四郎様	千葉県
・山田 由夫様	愛知県
・梶田 亮 様	山口県
・由利 良太様	神奈川県
・芝原 綾 様	埼玉県
・東 芳史様	愛知県
・井上 淳史様	大阪府
・水谷 渚 様	大阪府
・佐久間智広様	埼玉県
・設楽 聡 様	埼玉県
・河合 徹 様	愛知県
・五味 真也様	大阪府
・徐 臻 様	兵庫県
・木村 恭之様	東京都
・森 昌弘様	愛知県
・村上 茂樹様	熊本市
・平良 悦子様	沖縄県
・嘉数 俊彦様	沖縄県
・榎本 義行様	東京都
・皆川 清文様	東京都
・紅林 謙作様	神奈川県
・山中 宣子様	神奈川県
・平野 晋一郎様	埼玉県

ほか多数

▶令和3年度寄附金額合計
157,918,500円（10月31日現在）

▶町公式ウェブサイト
「ふるさと納税」ページ
<https://www.town.kosa.lg.jp/q/aview/136/233.html>

■お問い合わせ先
町地域振興課
☎096-234-1154（内線232）

山火事は、例年秋から冬に

山火事に用心！

お知らせ

▼お問い合わせ先
県立高等技術専門校
☎096-2297-9915

▼訓練場所
株式会社総合プラント
（熊本市中央区神水1丁目38・10）

▼経費
テキスト代1万3640円
（税込）程度

▼訓練期間
令和4年2月1日（火）～
4月28日（木）

▼募集期限
12月28日（火）

を基礎から学び、知識・技術の習得と資格取得を目指します。

☎096-333-2450

▼お問い合わせ先
県森林保全課

④タバコは指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すこと

③火入れをする際に、許可を必ず受け、十分な実施体制をとること

②強風時はたき火をしない

①枯草などがあるような場所ではたき火をしない

意ください。

山火事がいったん発生すると消火は容易ではなく、また、長い年月をかけて育てた貴重な森林を一瞬で失うことになりません。このようなことにならないよう、次のことに留意してください。

かけて発生しています。空気が乾燥し、森林内の落葉などが燃えやすい状態になっており、強風などでたき火が燃え移り、山火事発生の危険性が高くなります。

（一財）消防試験研究セン

▼お問い合わせ先
熊本市

・電子申請
12月13日（月）～20日（月）

・書面申請
12月16日（木）～23日（木）

・試験日時
令和4年2月6日（日）

・試験の種類
・甲種危険物取扱者試験
・乙種危険物取扱者試験（第1類～第6類）

・丙種危険物取扱者試験
・試験日時
令和4年2月6日（日）

・試験の種類
・甲種危険物取扱者試験
・乙種危険物取扱者試験（第1類～第6類）

消防法の規定に基づき、令和3年度第3回危険物取扱者試験が次のとおり実施されます。

☎096-282-1110

▼お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといい地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといい地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといい地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといい地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといい地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといい地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといい地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

くらし安全

年末年始における犯罪や交通事故を防止しましょう

例年、年末年始は、金融機関などを狙った強盗事件や車上ねらい、乗り物盗（オートバイ盗や自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。また、車の利用が増えることに伴って、交通事故も増加します。

例年、年末年始は、金融機関などを狙った強盗事件や車上ねらい、乗り物盗（オートバイ盗や自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。また、車の利用が増えることに伴って、交通事故も増加します。

例年、年末年始は、金融機関などを狙った強盗事件や車上ねらい、乗り物盗（オートバイ盗や自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。また、車の利用が増えることに伴って、交通事故も増加します。

例年、年末年始は、金融機関などを狙った強盗事件や車上ねらい、乗り物盗（オートバイ盗や自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。また、車の利用が増えることに伴って、交通事故も増加します。

例年、年末年始は、金融機関などを狙った強盗事件や車上ねらい、乗り物盗（オートバイ盗や自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。また、車の利用が増えることに伴って、交通事故も増加します。

例年、年末年始は、金融機関などを狙った強盗事件や車上ねらい、乗り物盗（オートバイ盗や自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。また、車の利用が増えることに伴って、交通事故も増加します。

Event

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ ～12月～

●人権週間啓発作品展

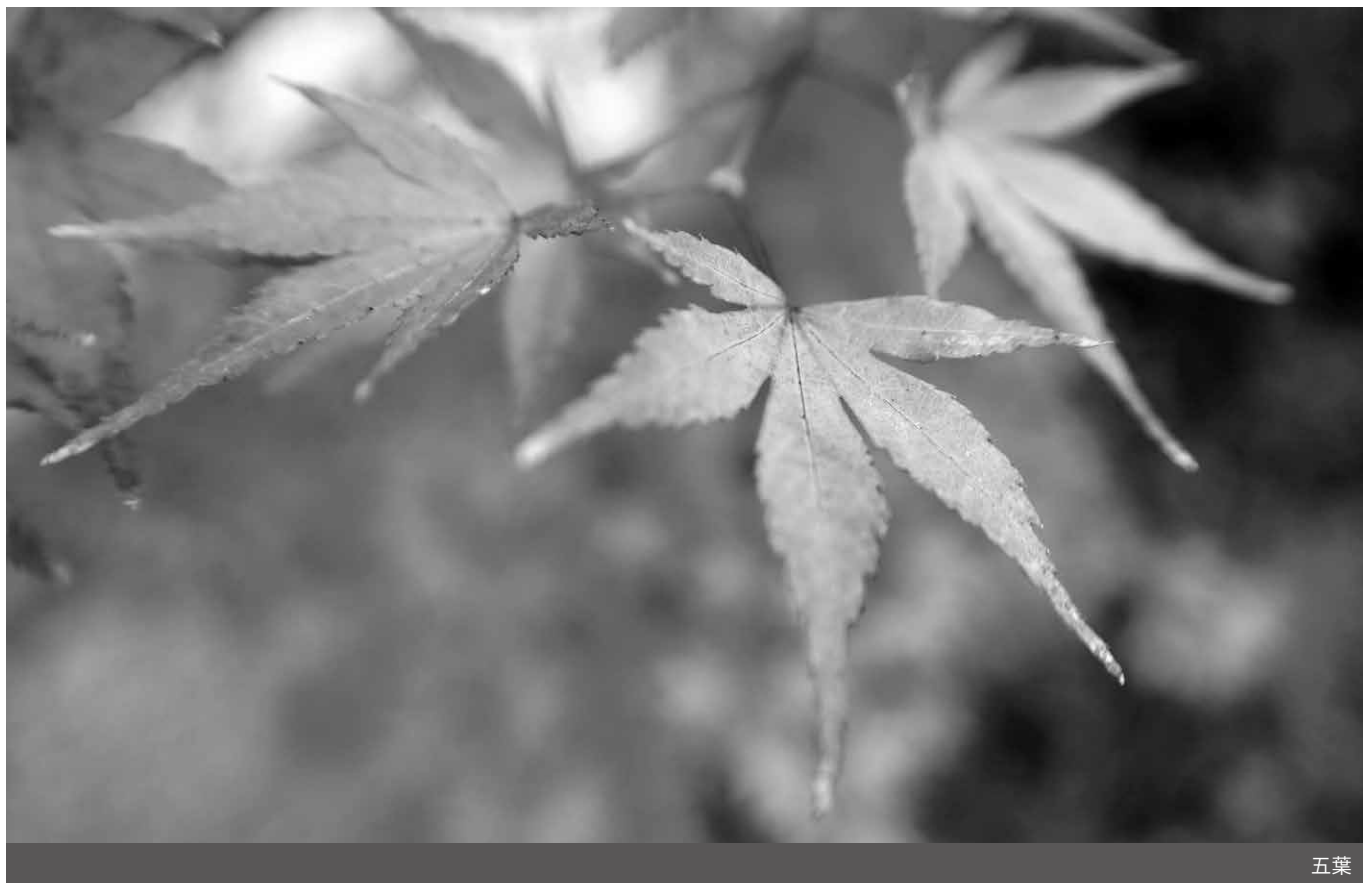
人権週間にあわせて制作された、町内の小中学生の習字作品や甲佐高生の人権標語を展示します。

▶期間 12月4日（土）～10日（金）
▶主催 甲佐町「人権週間」実行委員会

●お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447



人権をテーマにした子どもたちの作品をご覧ください



五葉

うたごよみ 師走

〔短歌〕

渡辺幸士選

吾れひとり賞^めでるに惜しき薔薇の花ホーム
の夫に見せてやりたし 池田キヨ子

娘らと御立岬へ夕日見に沈む入り日に心安
らぐ 赤星 文子

夜半^{よわ}の駅待ち居し人はもういないそれも分
からぬ昔の話 塚原 暁益

稲刈りの機械のあとを虫さがしついでむ姿
の鷺に微笑む 緒方 明美

戦地より父が付けをり我が名前幾度書類に
書いただろうか 内田乃武子

秋来れば流れる月日早まりてコロナ禍に暮
れ冬に入りゆく 吉永由紀子

つつがなく今日を過ごせと言うごとく遺影
の妻の笑みは変わらず 渡辺 幸士

〔川柳〕

渡辺幸士選

「のびのび」

やる気だな子供のびのび返事する 川村 文子
のびのびとダンスしている新入児 清川みどり

「えがお」

来年も毎日笑顔忘れまい 日隈 俊郎
最終のバスまで笑顔待っていた 渡辺 幸士

〔肥後狂句〕

北川直美選

寒さ寒さ

先ずは湯豆腐熱燗で 広田みどり

寒さ寒さ

暖簾^{のれん}の奥に吸い込まれ 下山 千恵

寒さ寒さ

年金まではまだ遠か 志垣 光

寒さ寒さ

心まで冷えきって来た 佐藤 葵

寒さ寒さ

陽射し求めて部屋探し 平井やよい

寒さ寒さ

一足飛びに冬の来た 長原 産賀

寒さ寒さ

あと一票に縮こまる 光永 六

寒さ寒さ

両手に包む汁の椀 井元あさみ

寒さ寒さ

急がにやならん衣替え 日高 美里

寒さ寒さ

今日も吐く息まっ白け 上田 梅清

寒さ寒さ

電気毛布の有り難さ 中村 南幸

寒さ寒さ

なのに家計は火の車 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447 (内線321)

birth				
お誕生おめでとう				
住 所	氏 名	性別	保護者	
田 口	宮本 想乃	女	翔 悟	
世 持	志垣 杏奈	女	陽 水	
ほか2人				

marriage	
ご結婚おめでとう	
今月の婚姻夫婦 2組	

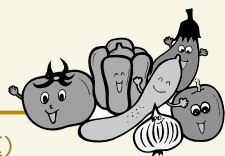
condolence				
お悔やみ申し上げます				
住 所	氏 名	年齢	世帯主	
横 田	澤村キヨト	98	雄	一
田 口	宮本 典子	92	典	子
早 川	山口スマ子	91	スマ	子
麻生原	福田 一誠	83	一	誠
白 旗	井芹トミコ	95	トミコ	
豊 内	小林 康子	88	康	子
中 山	古閑千鶴子	96	壽	
白 旗	田中 義之	84	智	亜
豊 内	福島喜久子	84	勇	太
ほか3人				

data		
甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	4,955	▲16
女	5,383	▲7
計	10,338	▲23
世帯数	4,366	▲7

令和3年10月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう！

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）



肉巻き卵

ご存じですか？

タンパク質の塊である「卵」には、ビタミンCと食物繊維を除いた、ほとんどすべての栄養成分が含まれているって、ご存じですか？

「卵」はその栄養価の高さやバランスの良さから「完全栄養食品」といわれます。一方で、コレステロールが多く含まれるので、1日に2～3個食べるのは栄養過多となります。

タンパク質は、筋肉や皮膚など私たちの体を構成する重要なものです。タンパク質には動物性（肉・魚など）と植物性（豆など）がありますが、バランスよく食べることが大切です。



作り方

- ①鍋に湯を沸かし、沸騰したらお玉に卵をのせそっと入れていきます。7分経ったら水に浸して、粗熱がとれてから殻をむきます。
- ②ゆで卵に小麦粉をまぶし、肉をしっかりと巻き付けてギュッと握ります。
- ③フライパンにサラダ油を入れて熱したら、肉がはがれないよう注意して、全体に焼き色が付くよう焼き上げましょう。
- ④十分に火が通ったら【A】の合わせ調味料を加え、さらに3分程煮ます。
- ⑤粗熱が取れたら卵を半分に切って盛り付けます。野菜と一緒に添えると、見た目も綺麗ですね。

材 料

卵		8個
豚口ース肉薄切り		16枚
小麦粉		少々
サラダ油		大さじ2
【A】		
赤酒		大さじ4
しょうゆ		大さじ3
水		大さじ2

鮮やかに色付いた木々がまちを彩る季節になりました。甲佐神社や加藤神社では、イチヨウが参道を黄色に染めています。

甲佐神社といえば、今夏、国宝に指定されることになった鎌倉時代の軍記絵「蒙古襲来絵詞」です。元寇に参加した肥後国の御家人・竹崎季長を描いたこの資料は、小学校の教科書でおなじみですね。

今月号では、シンポジウムでの稲葉先生のお話をご紹介します。益城郡の中心に位置する甲佐と緑川の流れが、甲佐神社や竹崎季長を結んでいたことが興味深かったです。皆さんもこれをきっかけに、このまちの歴史に触れてみましょう。興味がある人は「いせきへ行こう 甲佐町 動画」で検索を！今回、講演いただいた文化庁の近江俊秀さんが、陣ノ内城跡をご紹介しますよ。

（と）

温故知新でこのまちの 歴史と文化を未来につなぐ

「甲佐の歴史を次の世代につないでいくために、地域に眠る文化財の保護を行っています」と話すのは、甲佐町文化財保護委員を平成31年3月に退任後も、文化財の保存や活用に取り組む本田荘一さん

（上早川二区）と清村一男さん（下豊内区）。2人は宮内地区社会教育センター（旧宮内小学校）内の「甲佐町民俗資料館」で、町文化財保護委員らとともに同資料館収蔵資料の記録や手入



清村 一男さん 本田 荘一さん
Kiyomura Kazuo Honda Soichi

きよむら かずお・ほんだ そういち（下豊内区）（上早川二区）
ち / 文化財の保存・活用にボランティアで取り組む。ともに熊本県文化財功労者表彰を受賞。

れなどを行っている。同資料館に収蔵されているのは、江戸時代〜昭和初期に使われていた農具や生活道具など地域住民から寄贈された民俗資料約200点。もともと仁田子の旧西村民俗資料館にあったこれらの民具たちは、熊本地震で被災した旧資料館から2人が中心となって保護したものだ。この地で営まれていたかつての暮らしを今に伝える

民具の数々を次の世代に引き継いでいくために、その保護と活用に関心を砕いてきた。これらの活動が認められ、令和元年に熊本県文化財功労者表彰を受賞した本田さんは「技術の発達によって、私たちの暮らしは便利なものになりました。子どもたちが先人の暮らしにふれることができる場として、この資料館を守っていききたいですね」と笑顔を見せる。

一方、この秋誕生した国指定史跡「陣ノ内城跡」にも大きく関わった清村さんもその功績が認められ、本年度の熊本県文化財功労者表彰を受賞。「まちの歴史を知ることが、このまちの魅力を理解することにつながります。陣ノ内城跡をはじめとする文化財を守り継ぐことで、未来を担う若い世代がこの地で脈々と営まれてきた人々の暮らしに触れる手助けができればうれしいです」と清村さん。

この地の歴史と文化に寄り添ってきた2人は、温故知新の思いとともに、このまちの暮らしを未来につないでいく。